

東日本旅客鉄道労働組合東京地方本部機関紙

JR東労組東京

No. 407

東日本旅客鉄道労働組合東京地方本部
住所：台東区上野7-1-1 上野新幹線本屋内
電話03-5830-2256 FAX：03-5830-2258
発行日：2024年 7月 1日
発行人：下雅意 浩明／編集人：塚崎 将幸
一部20円（組合員は組合費、OB会員はOB会費を含む）



新たな地平を切り拓く！ 第41回定期大会開催！

大会宣言(案)

本日、私たちJR東労組東京地本は第41回定期大会を開催した。再建から4年、地道に組合員とつながりを深め、多くの組合員が参加してくれた意見交換会では、職場の真実を掴み「建白書」を首都圏本部へ提出してきた。そこには「変革2027」やジョブローテーション施策の実態、鉄道事業のみならず医療職場でさえも要員が逼迫した状態であり、安全風土崩壊の予兆は、会社が言う理想と職場で起きている現実があまりにも乖離していることを如実に示している。

24春闘における賃金引き上げと夏季手当の取り組みでは、その要求の根拠と会社を取り巻く情勢を学び、首都圏協議会春闘集会をつくり上げ、本部交渉を支えてきた。会社回答はベアにまで職責による格差を持ち込み、夏季手当では賃金改定後の数字をも成果にするなど、経営の論理に終始した。

しかし、あらゆるものが値上げラッシュの中、今の賃金のままでは普通に暮らしていけないという生活実感と、インバウンド需要など多忙な労働実感という、労働の論理と認識の差は開くばかりである。

重大事故・大規模輸送障害など、鉄道としてあってはならないことが立て続けに発生している。予防保全ではなくデータに異常があれば点検するという「発生主義」への転換は、事故を未然に防止するという職場の安全風土と技術継承を危機的な状況に陥らせている。訓練や研修もおざなりになり、現場では報告を要する事象が増えている今こそ、経営姿勢に立ち向かうことがJR東労組への期待と信頼だと見える。

私たちは施策への納得感と安全・要員・サービスの4つの柱を置いて、「責任追及から原因究明」という安全風土の再確立に向けて、組合員の英知を結集し「政策提言」をつくりあげよう。

ロシアによるウクライナ侵攻、イスラエルによるガザ侵攻は終わりを見せず、それぞれの兵士や市民が死傷し、多くの人々が病気やケガ、飢餓の中に置かれている。一方で岸田政権は台湾有事を煽り、「専守防衛」を逸脱するかのようには敵基地攻撃能力保有の閣議決定を与え、日本企業による武器の開発・製造・輸出を目論んでいる。ネットニュースなどで戦争の見え方が変わって来たが、沖縄の地で学んだようにいつの世も犠牲になるのは女性や子ども、戦地へ駆り出されるのは労働者であることを忘れてはならない。よって9条連など良識ある仲間と連帯してたたかろう！

経団連と会社経営陣は「労使協創協議制」という法案で、社友会に労働組合と同等の権利を与えようとしている。これまでの社友会の言葉からも分かるように、会社にとって都合の良い彼らは、この会社が間違った方向に進む道をますます加速させるであろう。雇用と賃金、安全と働きやすさ、どれをとっても彼らに「白紙委任」させてはならない。

東京地本では再加入の仲間や埼京運輸区の仲間が加わり勇気をもらった。今後はライン管理という未知の領域にあって、今後も首都圏各地からの仲間たちを迎え、その使命も役割も大きなものとなっていく。優れた団体交渉づくりと世話役活動を通じて若者たちの新規加入を実践し、自らを律して業務に向かい、「安全・健康・ゆとり」をもって働ける会社と職場を、力を合わせてつくりだしていこうではないか！

以上、宣言する。

2024年7月6日
東日本旅客鉄道労働組合
東京地方本部
第41回定期大会



昭和採用から平成採用へ

JR東労組東京地方本部は、7月6日(土)JR東労組東京地方本部会議室において第41回定期大会を開催しました。
今大会で執行部体制は昭和採用者は退任し、平成採用者の体制となりました。
今後、昭和採用者も特別執行委員指定となります。昭和採用の柳顧問、山下特別執行委員、荒井特別執行委員、柳澤特別執行委員、先日お亡くなりになった塩入特別執行委員には、2020脱退騒動の最中、守る会を含め、多大なるご尽力をいただきました。今後、東労組運動の灯を消すことなく、さらに大きくしていきます。
これまでのご尽力に感謝を申し上げますとともに、決意新たに、今執行体制以降、奮闘していきます！

特別執行委員を指定しました

役職名	氏名	職場名
顧問	柳 明	JR 電 S I 連
執行委員長	下雅意 浩明	電 S I 連
執行副委員長	黒田 弘樹	中野電車区
執行副委員長	田中 美樹	J E P S
執行副委員長	鶴ノ澤 信一	首都圏協議会
執行副委員長	唐紙 将一	首都圏協議会
執行副委員長	柳 優一	首都圏協議会
執行副委員長	田谷 敏	指合
書記	田谷 敏	指合
組織担当部長	橋本 久	大崎
組織担当部長	石橋 誠	東武東上線
情報担当部長	塚崎 将幸	京葉運輸
情報担当部長	近藤 智紀	指合
業務担当部長	鈴木 雄大	京葉運輸
業務担当部長	中 隆治	新宿統括センター
業務担当部長	関根 隆	ユビリテイサービ
業務担当部長	阿部 勇	新宿統括センター
総務担当部長	谷口 寛人	東武東上線
会計担当部長	宮崎 恵	東京新幹線運輸区
会計担当部長	矢野 奈津子	新宿統括センター

2024年度執行体制

柳執行委員長あいさつ

今おぼろしに福知山線事故前夜 自らを律し、仲間を律し、相互指摘と 職場からの挑戦で安全風土再確立を！



今、私たちはJR東日本の安全風土がJR西日本の福知山線脱線事故の前夜と同じ状況に陥ってしまったと危機感を訴えています。特に、見せしめ的な「懲罰的な日勤教育」やパワハラまがいの精神教育が横行する職場実態は、会社の責任追及と帰りの現実であり、ハイリッヒの法則すれば私たちは大きな事故の直前という事態に直面しています。

しかし残念なことではありませんが、組合員の不祥事によって私たち自身がJR東日本の安全文化と安全哲学を自ら崩壊させる事態を招いてしまいました。

結論から言います。私たちの使命は鉄道の安全を確保し、乗客と仲間の命を守り抜く。それが私たちの使命であり任務です。そして、その姿勢は常に会社や社会から注視されていることを片時も忘れてはなりません。

私たちは、会社が行おうとしている施策の矛盾や安全軽視の姿勢を糾すために、仲間同士との議論のもとに労働組合という組織として堂々と要求を掲げ、仲間と共にたかひ抜く。それが、私たちJR東労組の職場からの挑戦であり、私たちの当たり前前

の労働運動の原点であることを再自覚しようではありませんか。

そのたたかひこそが、会社が掲げる机上論の「究極の安全」を乗り越え、私たち自身が職場現実に根差した「究極の安全」を実現する職場からの挑戦に他なりません。

その実践は現場で働く私たち自身にしか出来ません。机上論の会社には絶対に出来ません。だからこそ、私たちはやるべきことはしっかりと実行する。言うべきことはしっかりと主張する。

私たち自身が自らを律して、仲間を律して、相互指摘を通じて自らと仲間を守り抜く。そのためには基本動作をはじめとして、やるべきことはやる。守るべきことは守る。という安全風土を職場からつくり出していく。それが、仲間と家族を守り抜く私たちに課せられた任務であることを再自覚しようではありませんか。

「責任追及から原因究明へ」の視点で、この問題を2名だけの問題に切り縮めず、労働組合として職場問題を放置した責任を含め検証し、対策を求めたたかひがなければなりません。

会社は腐ったミカンでは放り出せと言わんばかりに、いとも簡単に労働者への死の宣告である「懲戒解雇」を行いました。私たちはこのような責任追及と帰りの経営姿勢を認めるわけにはいきません。

よって、私たちは自らを律して、職場を総点検し、不祥事を許さず、組合員相互に注意喚起を行いながら安全風土の再確立を通じて、働きやすい職場をつくり上げるためにたかひ抜くようではありませんか。

高橋書記長来賓あいさつ



1点目は、不祥事に対する現段階の本部の考えについて述べていきたいと思っております。

先月、運転士をしていた下村元副委員長が業務中にイヤホンをして音楽を聴きながら運転し、これまでも同様なことを行っていることが判明しました。皆さんからの信頼を損なう行為を発生させてしまったことに改めて謝罪させていただきます。本部大会でも代議員の皆さんから厳しい意見、指摘をいただきました。本部としても当然安全を蔑ろにする不祥事を許すことはできません。事象の発覚を受けて、本部としても本人と議論してきましたが、なぜ眠気防止でイヤホンなのか、全く理解できない。ハンドルの置くべきだ。ジョブで乗務員をバックアップし、これまでものたかひを吹き飛ばす行為だなどを重ねました。

本部大会でも、危機感のない指導部が一番の危機。本部指導部の質はどうなっているかなど意見がありました。私も含めて、相互指摘はどうだったのか、相手の認識や行動を変えるところまで完結できていなかったのかと捉え返しています。なぜこのような事象を生み出してしまったのか、本部としても改めて執行部の議論の場をつくり、議論を深めてまいります。本部大会で、下雅意副委員長から発言がありました。タレットが普段のスマホの延長で操作している現実など、科学的な視点も踏まえた議論も必要であると感じています。

一方、処分が早いし重すぎるとの声や、恐怖支配、見せしめの経営の現れではないかともありました。不祥事とはいえず、事象からわずか1週間、1回目の支社の聞き取りからわずか4日で、原因究明も対策も講じることなく、労働者にとって死刑宣告と言えぬ懲戒解雇を下す経営姿勢も明らかになったとおりで、この姿勢は断じて許すことはできません。

また、今回の2件の不祥事で、全社的に乗務員職場で面談・添乗が実施されています。千葉では管理者から、このままでは監督業務するようにならなければならないこと、また、労組対策も色濃くなり、更なる労組破壊の攻撃を引き出す恐れがあります。それは他埼京運輸区分会山崎分会長から、職場で

は本人に対する怒りもある一方、懲戒解雇を産み出したのは、分会にも課題がある。不祥事は守れないと伝えきれなかったし、本部にももっと発信すればよかった。また、蘇我運輸区分会からは不祥事発覚当日は掲示が大々的に出され、18春闘のようだった。分会に飲み込まれそうだった。まず役員で集まって議論し、組合員にも事実を伝えて議論し、意思統一を行ってきた。自らの雇用を守れず、仲間の雇用は守りません。また、自らの姿勢を正し、やるべきことをやり、言うべきことを言い相互議論、相互指摘しあえるJR東労組運動をつくり出していきます。

2点目です。24春闘総括と要員問題を背景とした安全問題や施策の課題についてです。集中回答日を大幅に前倒し示された回答は、過去最高のベア額であるも、過去最高の格差とし、他労組が早々に打結していく中、JR総連春闘としてたかひ抜いてきました。また要求実現とはなりませんでしたが、夏季一時金の要求を掲げ、職場の努力に報いない、経営姿勢の突破に向けてたかひを積み上げていきました。

バス関東本部、ステーションサービス協会の春闘会長も過去最高の回答でしたが、連合最終集計は本体会も届いていない結果となり、産業界の格差は継続した課題となつていきます。また、夏季手当の結果などを踏まえベアとなる基本給の底上げについて継続した課題となつていきます。24春闘をたたかひ抜いた教訓は、21春闘の失敗から学び、またJR総連春闘としての統一要求統一闘争と組合の現実を対峙し続けることとです。一方、バスの仲間からは本体的春闘と夏季手当の同時議論によって、夏季手当の熱意と熱量が全く感じなかったと、の声を上げられています。このことを受け止めて組織的課題と据え、25春闘のたかひを構想しています。

営業職場におけるみどりの窓口縮減の一旦凍結について、職場からは報道によって不安の声が多くなり現場社員の周知がないなど、の混雑対策に向けて教育や廃止転換を行つているが根本的な解決にはならないなどの声が上がられています。本部としても、21号で議論しています。

その他時間の業務や企画業務の実態についても発言がありました。鉄道の運行に關する本末転倒です。遂行できない状況になるのは本末転倒です。優先すべきは主たる業務であることを改めて一致させて対案づくを含めて議論を深めていく必要があります。また、ジョブが破綻しているとの発言もありません。会社が求めてきたキャリアアップを一切無視した異動は断じて許すことは

できません。納得感が施策のポイントといつたのは会社です。この確認事項を守らせるたかひを強化する。同時に組織再編におけるジョブの検証が必要と考えます。グループ安全計画2028がスタートしていますが、あやや重大事故となる事象やパートナー会社における感電墜落事故もなくなりません。今年一年も安全を重要課題に据え、たかひをつくり出していきます。電気SIO・宿泊料金を取り戻すたかひにかいては、そこに気付けるリーダーがいたから、声を集約できる組織があったから、要求し交渉できる組織があったから、チェック機能を発揮することができたから、訓がありました。また、田谷副委員長からは座談会などで出された医療、職場の声を、白書に反映させた成果とありました。そして、共通した成果として組織課題を実現できた発言がありました。

成果型評価型の制度を含めた、あらゆる断を許さず、安全健康ゆとりある職場をつくり出し、利益最優先で冷徹な経営の論理を貫く経営制に絶望期は断じてありません。そして、さらなる組織強化拡大、一万人組織の実現に向けたたかひをつくり出していきます。

お疲れさまでした



今大会で退任された 長谷川真一さん、山下信二さん、柳明則さん、対馬史幸さん (左から)

大会の議長を務めた 齊藤秀一代議員

大会代議員の発言(要旨)

▼埼京運輸区発足 3ヶ月。乗務中のタブレット使用があった。まさか身近で、大きな不祥事が発生するとは思わなかった。身近で、なから気づけなかったのが反省点。このような人を二度と出さないこと。▼当初は大宮運輸区と大崎までできる職場としてPTができた。異動の希望を会社としっかりと伝えることが重要。異動にあたっての不安の解消を図ってきた。▼東京地本の交渉に向けて準備した。ジョロテーションの年数カリセットされるのか。また女性の設備について交渉し、不安が解消した。▼過半数代表者選挙。会社は大宮も埼京も過半数獲得する任数を割り振った。未加入者の中には会社で投票することに危機感を覚えている人も。▼嫌われても良いので、山崎分会長に入れてもらうようお願いした。▼2回目、棄権が一人出たのは反省点だ。▼大崎に設立した意味を問う声もあるが、未加入者も含めて顔つきをして、組織強化していく。▼安全問題、不祥事は残念だが、対策ができていないのに懲戒解雇したのはいかかものか。▼ルールを守るのは大変。破るのは簡単。危機感を。▼東京地本内で埼京運輸区分会が過半数代表者をとったことに敬意を表す。▼職場で2年後に訓練の在り方が変わると突然言われた。訓練が2日から1日になる。日数の問題ではなく、中身の問題だ。▼2018年入社の人と飲んだ。「社友会は何もやってくれない」「組合の人ばかりかまってくれる」本人は社友会を抜きたい。▼組合員全員が同じ方向を向いて、自分が一歩前に出て分会結成に向けていく。▼定期委員会、組合費の話をした。▼10月から統括センターになる。車掌区とも交流を持っていきたい。管理者が「どのようになるのか」質問したが、答えられなかった。▼会社は活躍するフィールドを広げる」というが、勝手に広げては困る。今の業務で一杯だ。▼160人ぐらいの職場でこれまで30件余りの体調不良で乗務を降りる人が多い。同じ人が繰り返しているわけではない。現状6人降りている。現場長が判断して復帰するかあるまい。産業医と話していないのも問題。▼駅2年目。社会人採用が多い。管理者にも社会人採用が多い。前職がブラック企業で、毎月30時間残業している人、心配して声かけると「JR東日本は、会社。超勤が支払われる」感覚が違ふ。▼

春闘時期いろいろ聞かれる。「ボーナスもらえるだけまし」という声もあるが、「下に合わせる必要はないし、JR東日本で賃上げできないければ中小、グループ会社の賃上げはできない」と答えた。温度差を感じる。▼兼務の社員が多い。乗務員の兼務社員が駅に異動。現場長は「即戦力」として出した。本人は不平を言わないタイプ。不安、不満が職場にある。▼7月で通勤列車がなくなる。尾久駅は入換作業が注で、誘導を担当するが、作業が少なくなり不安だ。▼信号所内で取扱い、誤りがあった。▼当初尾久駅が首都圏の入換業務を担うとの話だったが、そうならない。▼保守用車が在線しているところへ保守用車を入れた。融合で異動してきた人が事象を起こした。ルールが決まっても守らない人も。事故が起きる可能性がある。▼尾久構内で直前横断かたひたび発生する。要因としては不定期に車両が入換することがあげられる。先日、ポイント灯中に渡っている乗務員に注意したら「下からだろう」と強い口調で言われた。▼昇職試験、やめたほうが良い。業務職は会社が覚えてほしいことを出すのだから、後で正解を出すべき。地方公務員は指図を廃止したとも聞く。▼2002年のライフサイクル、緑の風に載っていた水戸の組合員の話が頭をよぎる。分裂したときも、「そんな組合には行かない」▼PT活動であいさつされず四面楚歌。主務の組合員を良く思っていない。PTが個人の点数稼ぎ、男女の出会いの場となっている。▼地震や助役の態度がストレスで、血尿が出た。東労組に残っているのは中原のおかげ。▼本当の融合と連携とは、運転整理で乗務員不在が起きたとき、駅と乗務員区が協力するなど会社寄りではなく、ユーザー寄りの立場で凡事徹底を行い、会社の一石を投じてきた。▼病欠から復帰した社員が二人復帰する。しかし勤務態度が厳しい。仲間からは「やっと3徹が終わった」などの声が上がっている。「それも仕事だ」という所長。▼今後後継者-取手をカバーする松戸統括センターとなる。今日は金町、明日は取手と範囲が広すぎるのではないかと。▼運転士に一人異動、代わり一人補充されるが、要員が増えていかなければ。休日出勤が3徹が常態化している。▼機関車の交番検査や電車の仕業検査、旧田端運輸所構内の入換など幅広い業務がある。▼勤務確定した後の日勤のところに、尾久の仕業検査が振られる。あらかじめ入れていた予定とブツ

キングしてしまうため、調整が大変。副区長の連携がうまくできていない。▼中途半端に企画業務を行うと、きかぬ業務打ち合わせが大変である。▼みどりの窓口を閉鎖時期に臨時に開ける。大宮運輸区の協力もあるが、7月はシブシブ、団券、特殊な切符のために常にお客さまが並んでいる。▼MVに並ばず、窓口並びたい人も。えきねっとが使いにくい。パスワードを何度も求められる。経路が複雑なきっぷが対応していない。社長の一声で窓口閉鎖が一旦止まったか、しっかり残してほしい。▼終電後の訓練など大きな訓練が調整が大変。たことり棒など、年一回開催していたもの。MOがなくなったので、現場単位で計画しなければならぬ。▼「500円のSuicaを返金するのに何で一時間かかるんだ」というお客さまの声。改札でも返せば良いと思う。▼新入社員が一人しかいない。技術継承できていない。▼コロナ解除で社会生活が元に戻った。インウンドもあり6害まで減り回復した。▼2024年問題、改善基準告知が4月から施行された。人出不足の問題もあり。休憩が増えるのは良いが、要員が足りないなかで休日出勤が増えている。▼55歳減額を廃止した。しかし東京都の最低賃金に引かれるので上がった。地方との賃金格差が問題。組合員の春闘に対する盛り上がりは欠けた。▼埼京運輸区分会の皆さん、ようこそ。東京地本で組合員が増えた。▼9月の野球大会に参加していく。統括センター化に向けて、松戸と上野に分かれる。▼田端統括センターと一緒に。▼私に番号業務を担当させない、となっている。モチベーションが上がる。あと8年改札で働くことになりそう。改札でもホームモニター見られるし、列停を扱える。▼第2回目の窓開め検証をしている。何回インターホンで呼ばれるか。周辺で語学学校が多く、ベトナム語、ミャンマー語が聞き取れないと不便。三河島は4徹だから北千住に応援が3人出たら、3人でどうなるのか。▼脱退者がやっぱり組合が必要と言うが、戻ってこない。▼バーベキューに参加した。▼来年、渋谷統括センターとなる。大崎運輸区や大崎営業統括センターの方々と交流したい。▼9月18~19日の野球大会▼タブレットの問題は手を打たない。「ばばば」と思っている。やるべきことをしっかりやっていく。▼エッジの履歴を確認されたが、現在もタブレットは閲覧できる。▼安全総対話を開催してきた。

黒田書記長総括答弁

東京地本の課題4点について述べさせていただきます。



1点目は、安全についてです。乗務中にタブレット、イヤホンを使用した不適切な事象は、運転業務に携わるものとしては絶対にあってはならない不祥事です。不祥事は悔しいですが守れません。2度と同じ事象を引き起こさない、同じ仲間を出さないためにも継続して議論してまいります。一方で数回の事情聴取のみで短期間の懲戒処分に見られる、責任追及と帰りの経営姿勢は正さないとはいけません。

2点目は、政策提言についてです。職場や利用者から、経営姿勢に不満、不安、怒りの声が多く挙がっています。「みどりの窓口」「京葉線ダイヤ見直し」はヒト起点と言いつつ、一方的・強引に施策を押し進めた結果です。さらには首都圏本部・現業機関は8つの統括センター化が完了しますが、疑問と矛盾だらけです。施策が、本当に働いているの向上、成長の機会となっていないのか、チケツトレス化によって利用者にとって真のサービスとなっていないのか、「建白書」をもとに働く側、利用者目線から検証し、職場に根差した要求と政策提言をつくりあげていきます。

3点目は今後の問題意識、危機感についてです。「労使協創協議制」の創設の法整備は、労働組合しか認められていない「労働協約」を締結することが認められることです。会社の狙いは労働組合無き、社員の労務管理です。この危機感を広げ組織拡大を目指します。

4点目は、東京地本の課題についてです。東京地本は組織再建の誓い「4本の柱」を掲げてスタートして4年が経過しましたが、少しずつはありますが、前進してきています。確認したいと思っております。

3月に埼京運輸区分会が結成され、東京地本の仲間となり、和採が退職し平成採用で、執行体制となり、採用で、本再建大会の誓い「4本の柱」、抵抗とヒューマンイズムの精神をもとに、より良いJR東日本の会社を築くために、是非の姿勢で会社と対峙し、会社が無視できない東労組と目指すためにも、実践を東京地本が先頭で奮闘していく決意を述べて総括答弁とします。

3月に埼京運輸区分会が結成され、東京地本の仲間となり、和採が退職し平成採用で、執行体制となり、採用で、本再建大会の誓い「4本の柱」、抵抗とヒューマンイズムの精神をもとに、より良いJR東日本の会社を築くために、是非の姿勢で会社と対峙し、会社が無視できない東労組と目指すためにも、実践を東京地本が先頭で奮闘していく決意を述べて総括答弁とします。

2点目は、政策提言についてです。職場や利用者から、経営姿勢に不満、不安、怒りの声が多く挙がっています。「みどりの窓口」「京葉線ダイヤ見直し」はヒト起点と言いつつ、一方的・強引に施策を押し進めた結果です。さらには首都圏本部・現業機関は8つの統括センター化が完了しますが、疑問と矛盾だらけです。施策が、本当に働いているの向上、成長の機会となっていないのか、チケツトレス化によって利用者にとって真のサービスとなっていないのか、「建白書」をもとに働く側、利用者目線から検証し、職場に根差した要求と政策提言をつくりあげていきます。

3月に埼京運輸区分会が結成され、東京地本の仲間となり、和採が退職し平成採用で、執行体制となり、採用で、本再建大会の誓い「4本の柱」、抵抗とヒューマンイズムの精神をもとに、より良いJR東日本の会社を築くために、是非の姿勢で会社と対峙し、会社が無視できない東労組と目指すためにも、実践を東京地本が先頭で奮闘していく決意を述べて総括答弁とします。

1点目は、安全についてです。乗務中にタブレット、イヤホンを使用した不適切な事象は、運転業務に携わるものとしては絶対にあってはならない不祥事です。不祥事は悔しいですが守れません。2度と同じ事象を引き起こさない、同じ仲間を出さないためにも継続して議論してまいります。一方で数回の事情聴取のみで短期間の懲戒処分に見られる、責任追及と帰りの経営姿勢は正さないとはいけません。

3月に埼京運輸区分会が結成され、東京地本の仲間となり、和採が退職し平成採用で、執行体制となり、採用で、本再建大会の誓い「4本の柱」、抵抗とヒューマンイズムの精神をもとに、より良いJR東日本の会社を築くために、是非の姿勢で会社と対峙し、会社が無視できない東労組と目指すためにも、実践を東京地本が先頭で奮闘していく決意を述べて総括答弁とします。

1点目は、安全についてです。乗務中にタブレット、イヤホンを使用した不適切な事象は、運転業務に携わるものとしては絶対にあってはならない不祥事です。不祥事は悔しいですが守れません。2度と同じ事象を引き起こさない、同じ仲間を出さないためにも継続して議論してまいります。一方で数回の事情聴取のみで短期間の懲戒処分に見られる、責任追及と帰りの経営姿勢は正さないとはいけません。

3月に埼京運輸区分会が結成され、東京地本の仲間となり、和採が退職し平成採用で、執行体制となり、採用で、本再建大会の誓い「4本の柱」、抵抗とヒューマンイズムの精神をもとに、より良いJR東日本の会社を築くために、是非の姿勢で会社と対峙し、会社が無視できない東労組と目指すためにも、実践を東京地本が先頭で奮闘していく決意を述べて総括答弁とします。

1点目は、安全についてです。乗務中にタブレット、イヤホンを使用した不適切な事象は、運転業務に携わるものとしては絶対にあってはならない不祥事です。不祥事は悔しいですが守れません。2度と同じ事象を引き起こさない、同じ仲間を出さないためにも継続して議論してまいります。一方で数回の事情聴取のみで短期間の懲戒処分に見られる、責任追及と帰りの経営姿勢は正さないとはいけません。

3月に埼京運輸区分会が結成され、東京地本の仲間となり、和採が退職し平成採用で、執行体制となり、採用で、本再建大会の誓い「4本の柱」、抵抗とヒューマンイズムの精神をもとに、より良いJR東日本の会社を築くために、是非の姿勢で会社と対峙し、会社が無視できない東労組と目指すためにも、実践を東京地本が先頭で奮闘していく決意を述べて総括答弁とします。

バス関東発

去る6月20日、バス関東本部は夏季手当等の申し入れに対しての回答を妥結しました。今回の夏季手当のたたかいは5月28日に「2024夏季手当勝利！総決起集会」を東京地本会議室で開催し、バス組合員だけでなく首都圏本部の方々とも団結し、力強い応援をいただきました。バス東京分会からは会社の収支状況が提起されました。バス関東本部は高まる労働実感と上がり続ける生活費の実態、コロナ前よりも少ない社員数で黒字決算を達成できたことを強く会社側へ訴え、申し入れ満額の2・8カ月を勝ち取ろうと意思統一しました。

バス関東本部と会社交渉団は三度の団体交渉を行いました。出された回答は基準内賃金の2・3カ月、我々の要求からかけ離れた支給率であり、コロナが5類感染症に指定された後も、引き続き感染対策を徹底して職務に就いてきた組合員社員の努力がどこまで報われた回答なのだろうか。ととても残念な思いです。バス関東本部は回答を持ち帰り議論を重ね、交渉の中で人材定着に向けた待遇改善が喫緊の課題であることや57歳以上社員への給与減額の改善への取り組みが労使共通の認識であることなど、一定程度認識が一致したとして、回答を受け入れる苦渋の決断を下しました。

バスを取り巻く社会情勢、労働環境は厳しさを増すばかりです。乗務員、整備士ともに他業種からの転職者は多くなく、同業他社から移ってくる方が大半です。今、JRバス関

業務部発

東を含めバス会社はどこも通年で採用活動を行っています。求人広告を出しっぱなしで、そこには賞与の支給実績などが記載されています。転職活動をするに当たり、労働条件で一番気にするのは賃金ではないでしょうか。就業時間、労働環境の良し悪しは実際に働いてみないとわかりません。しかし、賃金は多いにこしたことはないという考えが、社員に支払われている賃金は求人における最大の武器です。各種媒体に莫大な広告費を投じて求人して

8つの大規模統括センター発足が提案される

首都圏管内の全ての駅・乗務員職場を統括センター化すると発表されました。会社は、社員一人ひとりの成長意欲に答え、活躍フィールドを拡大させていくためとしています。施策の正式件名は「首都圏本部における柔軟な働き方のさらなる実現について」です。この柔軟な働き方とは誰にとっても柔軟な働き方なのでしようか。会社が社員を自由に運用するための「柔軟な働き方」になっ

いくより、現役社員に賞与を出すことがより良い人材の新規獲得につながります。期末手当のたたかいはその点も会社へ訴えていきます。バス関東会社は今年度上期も業績が順調に推移しています。これは要員不足の中で休日出勤して運行本数の確保に奮闘する仲間が努力があったからこそのもので、ポストコロナ時代における価値観の新しい物差しと対価の最たるが賃金であることはゆるぎないものです。高まる労働実感を期末手当に反映させ、未来に希望が持てるバス関東会社にしていきます。職場から声をあげていきま

営業職場と乗務員職場 それぞれの職場現実

・営業職場 「やつと3徹が終わった」「また休勤」そんな会話が日常的。勤務作成に苦勞し担当者は神経をすり減らしている。寄せられるのは悲痛な叫びばかりです。夏季繁忙期の出札増設が発表されましたが、会社は体制(要員)の変更なく対応可能としています。窓口の閉鎖、縮小で1日の出面数は減っていますので、増設する窓口の人に人を配置する場合、出面数以上の社員が現場にいないと対応ができないことになりました。駅にそんな余裕があるのでしょうか。応援者だけで対処できるのでしょうか。出札を増設することを否定はしません。一方で、現場へのしわ寄せを避けるのも会社の責任です。業務量にに応じた適正な要員配置がされていない現状を会社は直視するべきだと訴えます。

・乗務員職場 連動(休勤)による体調不良者の発生、他区所への行路移管など乗務員職場も要員に余裕はありません。予備勤務者なんて減多にいないという現状も聞かれています。そんな中、ワンマン運転の推進と運転士による車掌の兼務が幹在問わす急激に進んでいます。首都圏でのワンマン運転は約4000人の車掌削減ができるとも言われており、車掌だった社員は要員不足に悩まされる箇所への再配置が容易に予想できません。相互運用に対して「休勤が無くなってよかったです」との声もありますが、鉄道の安全・サービスに関わる重要な施策であり、検証と労使議論は必須です。会社の目的を見極め、問題はしっかりと指摘していかなければなりません。

統括センター化施策に正面から向き合うために集結しよう

同一統括センター内においては、発令を伴わずに担務を変更することが可能です。また、各駅での出面数も組合には示されず、要員は一層数字に表れなくなり、私たちは系統を問わず要員は不足しているという認識です。会社はこれを頑なに否定します。統括センター化施策を良いものにするためには、この認識を一致させ同じ目線に立つことが第一歩です。そして、職場現実をつかみ会社に突き付けるためには、統括センター単位でのつながりが非常に重要になってきます。業務部は業務課題の解決を通じた組合員、社員の横断りの創出を行っていきます。

2024年度夏季手当等について

初心者、女性、エリダー、OB、未加入者大歓迎!

勝たなくていい。
みんなが楽しければ。
本気で楽しむ
挑戦者求む!

JR東労組一丸協議会主催野球大会
2024年9月18日(水)~2024年9月19日(木)
野球場: 石川スポーツグラウンドくろいそ
宿泊地: 乃木温泉ホテル
本気で怪我無く、野球を楽しもう!!

※東京地本でチームを作ります! 経験不問、希望される方は東京地本HPお問い合わせから願います!

JRバス関東本部

6月20日に苦渋の判断で妥結!

バス社員 支給日 6月25日以降、準備でき次第
基準内賃金× **2.3ヶ月**

契約社員A 月額1.75倍した額
契約社員B及び臨時雇用員 継続雇用期間及び稼働実績に基づき、個別に定めた額

夏季手当総決起集会を開催し、組合員・社員の生活実感・労働実感に対する声を柱にたたかいてきましたが、6月17日に要求から乖離した回答が示されました。組合員・社員の悲痛な声を訴え再考を求めましたが、6月20日に妥結の判断をしました。

ステーションサービス協議会

過去最高の月数と平均支給額を引き出して
6月13日に妥結!

基本給月額× **2.6ヶ月** 支給日 6月28日(予定)

人材確保・定着の実現と要員不足の解消をめざす特別手当として、全従業員対象に一律10万円を支給することを求めてきましたが、実現には至りませんでした。今交渉ではアンケートを実施して職場の声を広く集めてきました。これまでのたたかひの結果として、今回の会社回答を引き出したことを確認し、妥結の判断をしました。

5・3 憲法集会

憲法記念日の5月3日、晴天の下「2024憲法大集会」が開催され、JR総連の旗の下に集う多くの仲間と9条連の仲間が結集し、全体では32,000名の参加者が有明防災公園に結集しました。

戦争状態になれば、鉄道は軍事輸送などを担うこととなり標的にもなることは、現在のウクライナでの戦闘でも明らかです。私たち自身の命と生活を守るためにも、戦争に反対し、子どもたちのために明るい未来を築くためにも憲法9条を守り広めましょう！



埼京運輸区分会歓迎バレー

5月24日、秋葉原キャンプ練習場 CAMPUS 秋葉原において、埼京運輸区分会歓迎バレーキョーレクを開催しました。

当日は天候にも恵まれ、参加者からの差し入れを戴きながら大いに盛り上がりました。今後もレクを通じ、横のつながりを意識したイベントなど皆さんが主役の運動を展開していきます！



南相馬市鎮魂復興市民植樹祭

6月9日、第12回南相馬市鎮魂復興市民植樹祭が開催されました。南相馬市では震災と福島第一原発事故により636名の尊い命が失われました。植樹祭当日は静かな大海原に向かって鎮魂の黙祷を捧げ、震災による瓦礫のマウンドに植樹を行いました。

また、JR東労組東京地本では9年前から「いのちを守る防潮堤」づくりの取り組みの一環として、駅頭にポット苗木の配布と苗木の里親さまの募集を行い、多くの方に受け取っていただきました。今春、「ポット苗木」が9年の時を経て里親さまから帰ってきました。



里親さまより、配布した時と同じ田端駅頭にて、受けとり苗木を植樹しました。大きな森(防災林)をつくり、多くの方々の命と財産を守るという壮大な構想を実現させるためには、一人ひとりが手塩にかけて育てた一本の苗木が必要であり、「小さな石かもしれないけど、みんなで手を携えて石を持ち、みんなで積み上げていけば、やがて大きな山になる。」ではありませんが、コツコツとみんなでつくりたいことが大切です。9年の時を超えて、命を繋いでいただいた里親さまの献身的な思いから、「人は森に生かされていること」をあらためて考えさせられました。

田中副委員長の事務小話

皆さん、こんにちは。JR東労組東京地本第四十一回 定期大会で今期も副委員長を担わせていただき、田中です。昨年に引き続き、事務小話を担当させていただきますので宜しくお願いいたします。

皆さん、こんにちは。社員に配布し、出向社員(エルダー含む)対象には、使用方法などについて説明会を開催しましたが、問合せ先の対応力の許容を超えている点もあり、十分とは言えない状況でした。

現在、JEPS東京BPOサービスマン(旧東京事務センター)では毎年恒例の通称、諸手当確認を実施しております。例年との違いは、皆さんのお手元にある貸与されているタブレットを使用してマイクロソフト社のOffice 365の「Forms」に回答していただく形式をとっております。普段、自分が使用しているスマートフォンと操作性が異なるタブレット(iPhone)を操作することで戸惑いを感じ、回答に苦労された方も多かったのではないのでしょうか。

全社員に配布し、貸与されているタブレットですが、JR本働業務とは違う、出向会社勤務の社員となりますので、勤務時間中にJR本働貸与品のタブレットを使用する環境がなく、破損等を理由に自宅保管されている方も多いと思います。

そのような環境下でタブレットの操作になじみず、エルダー社員を退職する際に、一切触れることなく返納される方を私はお会いできませんでした。

会社は、エルダー社員を含む業務で日常使用していれば当然、勤務時間に不安を解消することも可能だと思えます。しかし、タブレット操作が業務になるのかどうか曖昧な環境で通達に基づき、各種調査が行われており、通達は明確な指示行為です。会社の指示に基づき調査であり、タブレット使用を支持していれば、タブレット操作は賃金が発生する事柄と受け取れますが、曖昧なままです。未だ、新JINJRE(人事・給与)の稼働時期は提示されておらず、申請形態をセルフ申請に近づけるため、「Forms」による申請は今後も増える傾向にあります。

タブレットを使用しての各種報告行為についての賃金支払いについても是正する必要があると思えます。

組合員の皆さんにとって事務手続きが少しでも便利且つ利益を損なわないものでなければいけないと私は考えます。今後の事務手続きの在り方について様々な場面で組合員の皆さんの意見を取り入れながら、皆さんにとって事務手続きとはどうあるべきか、そして事務を担う組合員の将来像についてどうあるべきかを議論していきます！

JR東労組東京地本

OB会ニュース

21号

2024年7月15日

発行者：小林 富夫

編集：情 宣 部

東京地本OB会第4回定期総会を開催します



すでに皆さまにはご案内をいたしましたが、下記の日程にて第4回定期総会を開催します。

- ・日時 7月24日 13時から
- ・場所 東京地本会議室

当日参加、現役組合員の皆さまの参加も大歓迎です。再建から3年が経過しました。更なる発展に向けみんなで盛り上げましょう。【写真は今年の定期総会】

第4回定期総会スローガン（案）

1. 全ての戦争と軍拡・増税に反対しよう！
1. 労働組合・労働者の『抵抗とヒューマニズム』の精神を現役世代に引き継ぎ、共に闘おう！
1. 赤字路線廃止に反対し、地域との連携を強化しよう！
1. 一切の組織破壊策動許さず、血と汗で築き上げた私たちの組織を強化拡大し、「安全・健康ゆとり」を根底に据えたOB会活動を明るく、楽しく、元気よく進めよう！

新札が発行されました。詐欺に注意しましょう。



7月3日新紙幣が発行されました。この機会に乗じて旧紙幣使用できない等の詐欺が発生し、すでに被害が出ています。

手口は・・・

- ・金融機関の職員を名乗り、新しいお札が発行後は、ATMや一部お店のレジでは古いお札が使えなくなったり、新しいお札と古いお札を一緒に使えません。交換するので預けて下さい。
- ・今、古いお札を預けて頂くと3%の利息を付けて、半年後に新しいお札でお返しします。
- ・ご自宅にあるお札がどのくらいあるかの調査をしています。調査に必要ですので預かります。



など、様々な方法で大切なお金を奪おうとしています。注意しましょう。

OB会チヨットおしやべり

熱中症に注意!

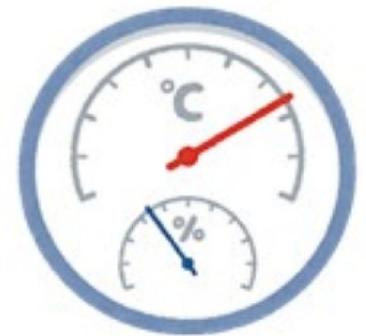
「熱中症警戒アラート」が出ています

6月に暑い日がありましたが、7月に入り連日暑い日が続き「熱中症警戒アラート」も出ています。昨年発行した第14号で注意喚起しましたが、毎日熱中症の話を知ると慣れてしましがちです。今年は更に注意しましょう。

注意点

【気温だけではありません】

気温が高くならなくても湿度が高い日も要注意です。
「昨日より気温が低いから」といって油断しないでください。



【早めの水分補給】

「なんだか変だな」と思ってからでは遅いです。早めの水分補給をしましょう。
合わせて適度な塩分補給を。
アルコール類では水分補給はできませんよ。



【エアコンの積極的活用】

電気料が高騰し節約したり、エコ活動でエアコンを控えがちになります。必要な時にはしっかり活用しましょう。



【必要以外の外出は控えましょう】

お天気が良いとつい外出しがちです。
外出の時にはペットボトル・水筒などでいつでも水分補給できるようにし、
日傘の活用、エアコンの効いた施設内での休憩もしましょう。



【睡眠中にも注意】

普段でも就寝中は500mlのペットボトル1本分の汗をかかると言われます。
暑い夏はそれ以上になります。エアコンの活用や
寝る前の水分補給や枕元に水などを準備しましょう。



【体調の変化に注意】

大量に汗をかくと血中の水分が少なくなります。「血栓症」など様々な弊害が起こりますので、特に基礎疾患をお持ちの方は早めの対応をしましょう。

※我慢大敵



・年齢を重ねると感覚が鈍くなり、暑さが感じにくくなります。ご自分では大丈夫と感じていても熱中症になってもおかしくない環境になっているかも知れません。**数字で見える温度計、湿度計で確認しましょう。**

鉄道ファミリー通信

2024年 3月 28日

No.1

発行 (株)鉄道ファミリー
〒141-0031
東京都品川区西五反田3-2-13
(TEL)03-3490-3862 (JR)058-4114
(フリーダイヤル)0120-49-8810

2024年

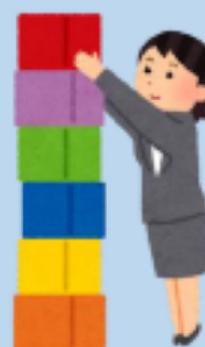
「春の加入強化月間」スタート！！

JR北海道労組・JR貨物労組募集期間：2024年4月1日～30日

JR東労組募集期間：2024年7月1日～8月31日

JR積立年金 〈明治安田〉

公的年金だけでは、老後の生活は不安視されています。
現在の運用利率「**1.25%**」です。
老後の安心を手に入れましょう！！
月々3,000円から積立OK！
期末手当・一時積立もOK！ **(月払いが必須です)**



※利率は現在の運用実績であり、将来にわたって保障するものではありません。

がん保険 〈アフラック〉

「鉄道ファミリーオリジナル 終身がん保険」

20歳代・30歳代で加入
すれば、生涯1,000円、
2,000円台の掛金です。



医療保険 〈アフラック〉

「EVERシンプル」

思わぬ病気・ケガを一生涯保障。
他社の医療保険に
加入している方も
特約を付けられます。



自動車保険 〈AIG損保〉

お車を購入予定の組合員の方・他社で契約されている組合員の方

あなたの自動車保険を
見直しませんか！！



鉄道ファミリー通信

2024年5月27日 No.2

発行 株式会社鉄道ファミリー
〒141-0031
東京都品川区西五反田3-2-13
TEL 03-3490-3862
JR 058-4114
フリーダイヤル 0120-49-8810
発行人 村田俊雄 編集人 高橋 忍

「JR東労組 加入強化月間」



7月1日からスタート!!

(JR東労組募集期間: 2024年7月1日~8月31日)

今回ご案内いたします商品はこちらです。

- | | | |
|---|--------|--------|
| ① | がん保険 | アフラック |
| ② | JR積立年金 | 明治安田生命 |
| ③ | 自動車保険 | AIG損保 |

対象地本には、6月20日頃に募集資料をお届け予定です。

北海道労組・貨物労組の皆さまへ

春の加入強化月間の取り組みにご協力
いただきまして、ありがとうございました。



アフラックの資料希望者においては、すでにご自宅や職場へ資料をお送りしておりますので、ご確認のうえ、お申込みをお待ちしております!

自動車保険
ご契約者へ

7月・8月はお車の買い替えが多い月でもあります。
車両入替のご予定はございますか?
車両入替の必要書類は車検証コピーになります。
納車日に合わせて変更のお手続きをいたします。



←スマートフォンからこちら
お手続き、お忘れなく
ご連絡ください。



その他【お問い合わせ】は鉄道ファミリーへ
フリーダイヤル: 0120-49-8810

鉄道ファミリー
ホームページ



鉄道ファミリー通信

2024年7月1日 No.3

発行 株式会社鉄道ファミリー
〒141-0031
東京都品川区西五反田3-2-13
TEL 03-3490-3862
JR 058-4114
フリーダイヤル 0120-49-8810
発行人 村田俊雄 編集人 高橋 忍

JR東労組 加入強化月間

7月1日 Start!!

お手元に届きましたら！見てね！！

★ご覧のラインナップになります。



JR北海道労組・JR貨物労組の組合員様へ
次回は、秋の加入強化月間（10月1日～）の
取り組みとなります。
只今準備中です。

アフラックのがん保険・医療保険、
AIG損保の自動車保険の新規加入は、
いつでも受け付けておりま～す♪
お気軽にご連絡くださ～い♪♪

※JR積立年金の新規加入申込ご希望の方は、
パンフレット・申込書を9月中旬ごろに発送
いたしますので、ご了承ください。

組合員T氏の体験談

朝、自宅のトイレの水が急に
流れなくなったので、ネットや
広告の修理屋さんへ電話を
しようとしたのですが、AIGの火災
保険に入っていたため相談を
してみました。その結果、AIGの
火災保険から修理代・出張費
は保険から補償されるとのこと
（部品の交換等は料金がかかり
ます）。業者さんの手配と
修理代は保険で補償され、
部品交換代1300円で済むこと
ができ、大変ありがたかったです。



その他【お問い合わせ】は鉄道ファミリーへ
フリーダイヤル：0120-49-8810

鉄道ファミリー
ホームページ



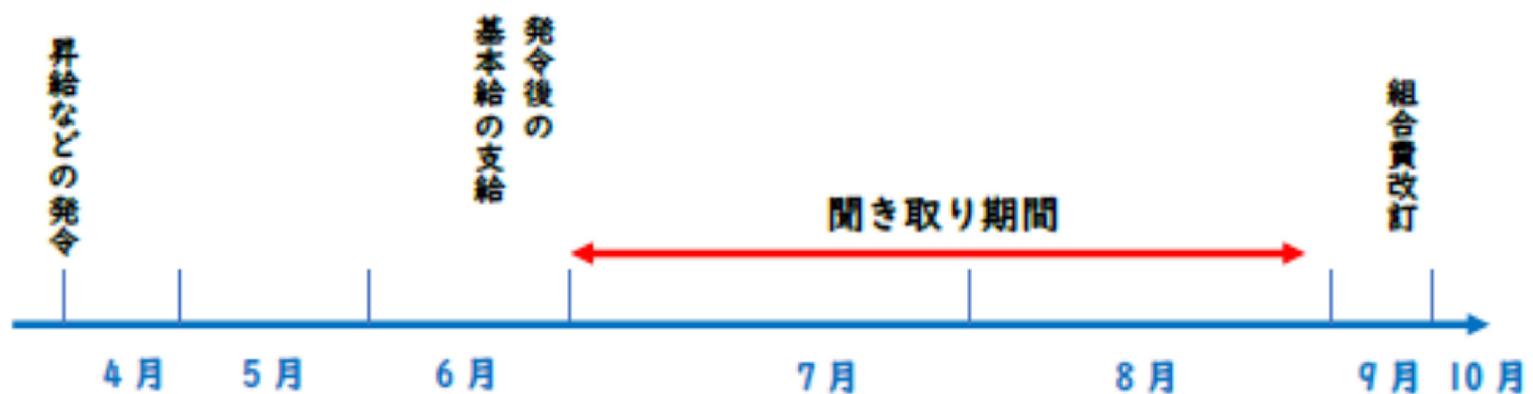
組合費の更新手続きが変わります。



これまで、JR東労組では、4月に定期昇給などで基本給が変わり、その変わった基本給に対応した組合費が6月の給与から天引きされるという流れでした。その際、新しい組合費は自動で計算されていました。それにより、組合員自身はこの組合費の更新に関して何かをするということは特にありませんでした。

しかし、この度新JINJRE導入に伴いこの自動計算がされなくなり、組合費が変わった場合、個別の組合費の額を申告しなければなりません。それにより各組合員へ基本給の聞き取りが必要となりました。したがって、これらを踏まえ、また今年の本部大会の決定により、毎年7月～8月を聞き取り期間とし、9月に組合費の改定という流れになりました。

聞き取り期間中は組合員の皆さんに基本給もしくは組合費をお聞きしますので、ご協力をお願いいたします。



7月～8月に組合役員と組合員との相互の連絡が取れず、聞き取りができなかった組合員に関しては、現行の組合費額に、暫定的に係職Ⅰ等級の定期昇給分の額として80円を加えさせていただきます。正式な額がわかり次第、清算をさせていただきます。

ご理解とご協力をお願いいたします。



東日本旅客鉄道労働組合(JR東労組)
東京地方本部 総務部

総務・共済からのお知らせ

組合費改定の調査に協力ください

6月の基本給改定に伴い、組合費も改定されます。

これまでは、会社で自動計算でしたが、新JINJRE移行に伴い、「申告制」となりました。このため、全組合員から基本給額または組合費額の聞き取り調査を行います。(本紙11ページ参照)

今年度の新しい基本給は**6月以降の給与明細**に記載されていますので、それを参照し、調査担当の役員等に伝えてください。

組合役員と連絡が取れない等の場合は左記の二次元バーコードから入力フォームで入力してください。

締め切りは8月16日です。

締め切りまでに調査に答えられず、入力フォームにも入力がない場合は、現行の組合費額に係職1等級の定期昇給分の額(80円)を加えますが、正式な組合費が分かり次第清算を行います。

※いただいた個人情報には組合費額の決定以外の用途には使用しません。



鉄道ファミリーよりお知らせ

「2024加入強化月間」スタート
7月1日～8月31日の期間で取り組むこととなりました。

鉄道ファミリーといまして、より多くの組合員のみなさまに「鉄道ファミリーオリジナル終身がん保険」をはじめ、多くの商品を知っていただく「ファミリー通信」を発行いたしました。(本紙8～10ページ参照)

特にこの度の加入強化月間より、組合員のみなさまにとって大変有利な条件で運用している「JR積立年金」の募集を再開しました。「申込書」等については鉄道ファミリーにご連絡いただければ、対応させていただきます。今後とも鉄道ファミリーをよろしくお祈り致します。

組合員・OB・家族の
安心・安全・健康を
サポートします

(株) 鉄道ファミリー

フリーダイヤル
0120-49-8810

JR東労組 東京地方本部
第46回定期地本委員会
2025年
2月15日(土)

・時間、場所については決まり次第お知らせいたします。
・委員・傍聴参加の皆さんで成功に導きましょう!

東京地本
バーベキューレク

日時、場所等決まり次第、東京地本情報でお知らせいたします

JR東労組サークル協議会主催
野球大会

日時: 2024年9月18日～
2024年9月19日

野球場: 石川スポーツグラウンド
くろいそ

宿泊地: 乃木温泉ホテル

東京地本 今後の予定

新生展望

東京地本は第41回定期大会で、昨年度末での昭和採の退職を受けて、下雅意委員長、田谷書記長を選出、名実ともに平成採による新たな執行体制を確立した。

大会では代議員からの自由闊達な発言で、職場の諸問題とそれに対する認識が共有され、東京地本の進むべき方向性が意志統一された。再建から4年、よくぞここまでというのが率直な感想だ。

一方で、現下の組織状況をみたとき、労働運動の存続の危機を脱していないのも厳しい現実である。こうした状況のなか、電気SIOにおける出張旅費(宿泊料)問題で、団体交渉で協約違反を指摘し追給をかちとった。このたたかいは通じて、「やはり労働組合は必要だ」という共感をつくりだし、組織拡大を現したことは大きな教訓であろう。みんなであつくり上げた「建白書」を武器に、さらに職場の英知を結集させ、安全やサービスを向上させる具を是正させていこうではないか。

ところで、川崎統括センターでの事象に象徴されるように、過半数代表者選出をめぐる、不正・不法行為が後を絶たないのは何故なのか。何が何でも社友会を代表にしたい

「労使協創協議制」に反対！ 労働運動の灯を守り、新たなステージへ第一歩を！

意図が透けて見える。経団連は本年1月、「労使自治を軸とした労働法制に関する提言」を発表した。労使協議により、現行の労働法制による縛りを適用除外(デロゲーション)させることを目指す内容である。それがJR東日本に他ならない。

すでに、厚生労働省「労働基準関係法制研究会」が、本年1月から6月までに第8回まで開催されている。とくに、5月に開催された7回目の会合では、労使団体対するヒアリングが行われ、経団連は「労使自治を軸とした労働法制に関する提言」を提出した。この「提言」の肝は、過半数労働組合がない企業を対象とした「労使協創協議制」である。労働法制や就業規則そのものを改正することなく、労働条件をデロゲーションさせる契約締結権限を、過半数代表者に付与するというものだ。

実際、経営側は社友会をパートナーとして育成するとしている。社友会が社員の自主的な集まりが建前だ。これを育成するとは何とも傲った発言だ。既知のこととは言え、社友会が経営の従属物でしかないことを経営側が明言したのだ。

私たちは、労働運動の灯を何としても守らねばならない。新たな執行体制のもと新生東京地本第二のステージの歩みを開始しようではないか。前へ！未来へ！